

支援プログラム

事業所名

大きな樹

作成日

2024 年

4 月

1 日

法人理念	生活と労働と学習を、利用者とともにたえず発展させ、生活と生産の喜びを創り出す。 地域に根ざし、障害のある人たちが生き生きと生活できる文化を発展させます。 地域の理解をすすめ、障害のある人たちの生活と権利の発展のため努力します。							
支援方針	異年齢集団での活動の中で、他者との関わりやコミュニケーションをとることの楽しさを感じられるよう支援していく。 児童ひとりひとりのニーズに合わせた活動を取り入れ、放課後や学校休業中にリラックスしてすごせる環境を整える。 障害児学童保育から続く戸外での活動を通じ、地域理解を深め、家庭や学校以外の児童の地域生活の場を確保する。							
営業時間	10 時	30 分	から	18 時	15 分	まで	送迎実施の有無	あり (学校～事業所間のみ)
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日の健康観察、検温、消毒手洗い等、児童の健康状態の把握に努める。 生活習慣の形成、運動・食事・睡眠・排泄等の基本的な生活リズムを身につけられるように支援する。 健やかな心身作りを目標に屋外での活動を実施し、健康で安全な生活ができるよう支援する。 食事、衣服の着脱、身の清潔、排泄等の基本的な生活スキルの獲得を支援する。						
	運動・感覚	活動を通じて微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整える。 制作や調理等手先を使った微細運動、散歩やプール、公園遊具等を使用した粗大運動を行う。 視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚（5感）を活用する活動・遊びを取り入れる。 障害特性や感覚認知の特性に配慮した環境の調整、構造化や見通しを持てる工夫を行う。						
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用した制作や運動等の活動を行い、認知機能の発達を促す。 児童ひとりひとりの認知の特性に配慮し、こだわり等個々の特性に合った支援を行う。 場面または活動の切り替えの際は、わかりやすい表記（文字や絵）やタイマー（音）を用いる等工夫する。 感覚認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害に対し、事前に予防策を講じ適切な行動獲得に向けた支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	挨拶や会話等、社会生活を送るうえで必要となる他者との円滑なコミュニケーションスキルを身につける。 会話の中から相手の意図を理解したり、自身の考えを伝えたりする能力を引き出せるよう支援する。 コミュニケーションツール（絵や記号・写真や絵カード）を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援する。 身振り手振り、ジャスチャーやサイン等活用し環境の理解や意思の伝達を支援する。						
	人間関係 社会性	異年齢集団での活動を通じ、他者との関わりの中で社会性や対人関係の発達を支援する。 一人遊びから協同遊びへの移行を促し、社会性や対人関係の発達を支援する。 信頼関係の構築、他者との安定した関係を形成できるよう支援する。 地域施設の利用や社会体験学習を通じ、ルールやマナーに関する知識を養う。						
家族支援	個別面談の実施、児童の課題聞き取りと必要な助言を行う。 児童を支援する輪を広げるための橋渡しを行う。 関係者・関係機関の連携による支援体制の構築を行う。			移行支援		支援内容の共有や支援方法の確認等、移行先との連携を図る。 家族への情報提供や移行先での環境調整を行う。 併行利用の場合は、利用日数や時間等の調整を行う。		
地域支援・地域連携	学校や相談支援事業所と連携し児童の支援を行う。 個別のケース検討のための会議への参加。 自立支援協議会の子ども部会や放課後連への参加。			職員の質の向上		職員研修実施 内部外部研修、虐待防止研修の実施。 人材育成、キャリアパス制度の導入。		
主な行事等	季節行事の実施（春休み一日開所、お花見、ハイキング、水遊び、夏休み一日開所、夏祭り、日帰り旅行、ハロウィン、遠足、クリスマス、冬休み一日開所、お正月初詣、節分豆まき、食事会、卒業生を祝う会等） 工場見学等の社会体験学習、お誕生日会、お買い物学習（季節行事の材料やおやつ、昼食の購入）							